

# 広島から福島へ ～学生による被災地支援～

「広島から福島へ～学生による被災地支援～」プロジェクトは、2013年4月からスタートした広島国際大学チャレンジプロジェクトに申請し採択されました。広島から被災地への支援を目的に東日本大震災の被災地の生の声を聞き、今学生ができる支援を行う！というプロジェクトです。

この活動のきっかけは、東日本大震災から2年以上が経過した今日でも、多くの方々が仮設住宅での生活を余儀なくされている実態や津波被害により、がれきや流木などが散乱したままとっている状況を知り、改めて継続的な支援の必要性和震災を風化させてはいけないとの思いからです。

この活動は4月26日(金)～29日(月・祝)に清水悠矢さん(住環境デザイン学科2年次)と高藤拓也さん(医療福祉学科2年次)が福島県相馬市を訪れ、現地で活動するNPO法人相馬「はらがま朝市クラブ」が行う朝市の活動に参加し、現地の方々と交流を図ることから始まりました。



清水 悠矢さん

高藤 拓也さん



ボランティアの皆さんと記念撮影



朝市での1コマ

まず、清水さんと高藤さんは、朝市開催のためのテント準備や特産物のゴールデンオレンジなどの販売を手伝いました。清水さんと高藤さんは朝市での活動を通じて、現地の方と交流しながら、被災した時の体験談や今の生活で困っていること等を聞かせていただいたそうです。

清水さんは「朝市に参加するまで、被災者の方たちは気持ちも沈んでいるんだろうな、と思っていましたが、朝市で出会うお客さんたちは皆、笑顔でポジティブな方たちばかりだったので、驚きました。」と語っていました。

また、高藤さんは「朝市の手伝いをしている時に『これは、放射能を浴びていないから安全だよ。』という声が周囲からたくさん聞こえてきました。そして、現地ボランティアの方に『それを言わないとなかなか売れないんだ…』という説明をされた時、風評被害がまだ続いている現実があり、とても悲しかったです。」と語っていました。

今後は、被災地での活動を継続すると共に、大学祭で福島の特産品・名産品の販売を行う予定です。今後の活動にも是非、ご注目ください！

現在、清水さんと高藤さんは、『被災地支援 学生実行委員会』を立ち上げ、熱い思いを持って一緒にボランティアを行うメンバーを募集しています。少しでも興味のある学生は、学生課、呉学生課、医療経営学部事務室まで是非お問い合わせください。

君たちも続け！

## 広島国際大学チャレンジプロジェクト(HCP) にチャレンジしよう!!

広島大生の皆さんのプロジェクトが学内外のいろいろな場所で活動しています！広島国際大学チャレンジプロジェクト(HCP)は学生の皆さんの「夢プロジェクト」を支援しています。

下記のプロジェクトは2013年度に採択されたHCPの一部です！全採択プロジェクトは、本学のホームページでご確認ください！なお、興味のある方は、学生課、呉学生課、医療経営学部事務室まで！！

チャレンジプロジェクト名	内 容	実施キャンパス
「広島から福島へ～学生による被災地支援～」プロジェクト	東日本被災地で生の声を聞き、被災地で学生ができる本場に必要支援を行い、復興に貢献する。	呉キャンパス
「新工コドリデザイン キャンパス建築緑化の未来像」プロジェクト	建築緑化活動を通じて省エネや環境改善への提案および地域との教育交流を図る。	
「ひろしま未来の育MENプロジェクト」	「ひろしま未来の育MENプロジェクト」発展のために育メン体験型イベントや講演会を実施する。	
「LCF (Let's have fun with Children & Families) プロジェクト	地域の子育て支援に関わることで親同士の情報共有や父親の子育て参加、子育て支援センター活性化を目指す。	東広島キャンパス
「広国PARK」製作・放送プロジェクト	ラジオ番組「広国PARK」の製作・放送を通じて東広島市および大学生の活動の活性化を図る。	
「ママにダンケ！母の日フラワーアレンジメント教室」プロジェクト	母の日に向け、フラワーアレンジメント教室を開催し、自己表現を行うとともに学生・教職員のコミュニケーションを図る。	
～ダンスで魂を揺さぶる～ 「響け、シニアの魂！つなげ若者との絆！」プロジェクト	交通安全講習会や地域の祭りなどで地域の高齢者と学生が共に踊る場を設ける事で地域との絆を創る。	広島キャンパス
「陶芸教室」プロジェクト	陶芸教室を通して、日本古来の陶芸を体験し、学生相互のコミュニケーションを図る。	
「夕涼み会in広島キャンパス」プロジェクト	お祭りイベントを実施することで地域の方と交流することで大学に親しみを持っていただき、大学祭や各種イベントの集客につなげる。	